

科目名	児童・家庭福祉の方法					単位	2.0
担当教員	藤林 清仁						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	1222

●授業のテーマ

子どもの権利と児童・家庭福祉の方法

●到達目標

児童・家庭福祉のサービスの現状と課題、支援方法について理解する。

●学習内容(授業概要)

児童・家庭福祉の方法では、次の二つのことを学びます。第一に、児童家庭福祉の現状と課題について理解する。第二に、児童家庭福祉の動向と展望について理解する。具体的には、少子化と子育て支援サービス、母子保健と児童の健全育成、多様な保育ニーズへの対応、児童虐待防止・ドメスティックバイオレンス、社会的養護、障害のある児童への対応、少年非行等への対応、次世代育成支援と児童家庭福祉の推進、保育・教育・療育・保健・医療等との連携とネットワーク、諸外国の動向を学びます。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 児童・家庭福祉の実際
2. 健全育成
3. 母子保健
4. 保育とは何か
5. 保育制度
6. 社会的養護とは何か
7. 社会的養護の現状と動向
8. 障害児福祉施策の概要
9. 少年非行への対応
10. ひとり親家庭への福祉
11. 子ども虐待の防止とその対応
12. 児童家庭福祉でのソーシャルワーク
13. 児童家庭福祉の担い手
14. 子育て支援
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

新聞等で関連する内容を見つけたら読んでおくこと。講義終了後、テキストの関連する内容を読んでおくこと。

●成績評価方法・基準

試験 80%、レポート 20%。

●テキスト（必携）

《No.1.》書籍名：児童家庭福祉（新・プリマーズ／保育／福祉）、著者名：福田公教 山縣文治、出版社：
ミネルヴァ書房、販売先：Do

●参考文献／その他

授業時に指示します。

●履修上の注意

特になし。